

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

1	表題(課題)名	工事施工後の発生品状況について	
2	工事(業務)名	R5信濃川下流電気通信施設保守業務	
3	受注者名	双峰通信工業株式会社	
4	工 期	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日	
5	担当技術者(立場)名	管理技術者	(こばやし よういち) 小林 洋一
6	担当主任監督(調査)員	建設専門官	
7	課題区分名	⑨その他 (発生品)	
8	工事(業務)概要	信濃川下流河川事務所管内に設置されている電気通信設備の点検・保守	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレメータ局舎及び設備更新工事後に、アンテナ等を取外したパンザマストが撤去されずに放置されている。工事施工後の発生品状況を考えられていない。点検対象外の設備は認識なく、管理されていない状況であった。既設のパンザマストは40年を経過しているため、根元を掘り確認した所、大きな亀裂を確認した。 		
10	【実 施 内 容】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧帝石橋局及び旧尾崎局にて亀裂が確認された。台風の影響を受け倒壊の恐れがあるため、単管等で固定、支線を張り補修を行った。 		
11	【実 施 結 果】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧帝石橋局パンザマスト 補修後、台風の影響を受けたが、倒壊せずに済んだ。その後、パンザマストを切断し撤去を行った。 ・旧尾崎局パンザマスト 補修後、台風の影響を受けたが、倒壊せずに済んだ。今年度中に撤去を行う予定。 ・倒壊していたら、電線を損傷させ停電を発生させたり、市道に倒れ車輛事故を引き起すなど、大きな損害が発生していたと思われる。 ・既設のパンザマストを運用している箇所もあるため、今後も経過観察及び補修等の計画が必要である。 		

(様式—2)

【実施内容等】

旧帝石橋局パンザマスト



亀裂状況



補修状況



支線取付状況



撤去 着手前



撤去 完成

旧尾崎局パンザマスト



亀裂状況



補修状況



支線取付状況